最優秀賞

22年　11月　24日（水）　秋桜

秋桜

3年2組

いじめは何故いけないの？

活きる権利を守る

「人権って何？」そう質問すると大半の人が「人が生きる権利だ」と説明する。本当にそうなのか。よく、「いじめは人権の侵害だ」という言葉を耳にする。例えばいじめを受けた人が、いじめを苦に自殺したならば、それは立派な「生きる」権利の侵害だ。人の命を奪う犯罪だ。だが、悪口や陰口などの言葉の暴力は実際に人の命を削る行為ではない。では何故、いじめはしてはいけないか。

いじめは人の笑顔を奪う。言論表現の自由を奪う。それは「活きる」ことを失うことではないだろうか。それは生きていないのと同じだ。

いじめは「活きる」権利を奪い「生きる」権利を奪ってしまう。だから私は人権とは、人として「生きる」権利でありまた「活きる」権利でもあると思う。では、そんな人権を守るためにどうすればよいのか。必要なのは、他人の笑顔や自分の笑顔を失わないための強さだと思う。人の気持ちを考えること。それは決して難しいことではない。「活きる」権利を守るために、自らが強く活きていくことが、いじめや差別をなくす第一歩だと私は思う。

迫る決戦のとき

十一月も終盤にさしかかり、十二月が訪れようとしています。三年生は三回の学力テストを終え一段落ついたところでしょう

ひなまつり決戦

か。この時期は受験生にとっても様々な不安や悩みが押しよせる時期です。しようか。帯広第四中学校の三年生には中学校生活最後の学年末テストとなります。

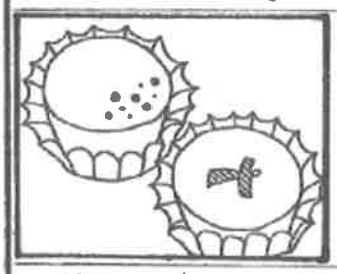
そんな時こそ受験勉強に力を入れて、今まで受験に費やしてきた膨大な時間を自信に変えていくことが大切なのではないでしょうか。

この冬では受験勉強にもラストスパートをかけ志望校合格に向け者には全員がうれし涙を流せるよう日々の時間を大切にして過ごしていきましょう。

NEW オープン 笑顔届けるお菓子屋

先日、今年八月十日より帯広市にてっぽ通り沿いでオープンした「十勝とてっぽ工房」に足を運んだ。お店が建てられたこの場所、とてっぽ通りは昔、十勝街道が走っていた場所で、人々の憩いの場であった。そして今そんな場所にお店をオープンし、みんなのもとにケーキを運び、食べてくれる人みんなを笑顔でしあわせにしたいという、そんな想いが込められた場所です。

このお店ではミネラル豊富なてんさい糖を使用した体によいお菓子づくりをしています。この店一番のおすすめメニューは「三種のフロマージュ」です。私も食べてみたところ、チーズがとろけるようで大きさもちょうどよくとてもおいしかったです。みなさんぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



ハロウィン編

十月三十一日は、みなさんお馴染みのハロウィンです。もともとハロウィンは夜にお化けや魔女などに楽しく仮装して家を訪れてお菓子をもらうという外国で生まれた行事です。

日本でも、こうしてハロウィンを楽しむ人がいるのではないでしょうか。

しかし、函館市では少し違ったことをするのだそうです。

函館市では、お菓子をもらう時に歌を歌うのです。決まったひとつの歌です。歌詞には「ろうそくをください」と入っていて、お菓子ではないのです。

函館は昔、電気が無くろうそくで明かりで暮らしていたからだそうです。

誰も知らない？！こんな話

四中風紀

先日、四中の風紀について校長先生と教生にインタビューさせていただきました。

校長先生は「全体的に落ち着きがあり、あいさつもよくさわやかな雰囲気があると思います。」と話して下さいました。

教頭先生は「生徒は、明るく素直です。ただ、もう少し落ち着いた行動がとれるといいと思うときもあります。」と話してくださいました。

これからも、一人一人が意識してよりよい四中になるように努力していきたいです。

編集後記

受験勉強に迫われながらも限られた時間の中で作り上げました。

思うように作業が進まないことも多々あり、とても苦労しました。

最後まで読んでいただければうれしいです。

《報道部一同》